

平成15年度は7講座開講、講師は本校教官が担当し、新居浜高専視聴覚教室で実施各講座とも2時間(10時~12時)で、定員を超える一般市民64名が受講し、興味・関心が高かった。次年度へ向けて講演件数の増加を要請された。

5月31日 介護はどんどん楽になる!?

~介護支援機器のお話~ 機械工学科 吉川貴士

6月28日 これからの運転・交通はどうなる!

~IT社会の自動車・交通システム~ 電気情報工学科 佐藤眞一

7月26日 バクテリアは働いている!

~微生物の環境・生活での利用~ 生物応用化学科 早瀬伸樹

8月30日 あなたの知らないガラスの魅力!

~窓ガラスから電子部品まで~ 材料工学科 新田敦己

9月27日 自動車の心臓は"エンジン"です!

~生活を支える熱機関のお話~ 数理科 平木弘一

10月25日 円地文子の世界-『女坂』を読む

~『源氏物語』の訳者でもある作家の代表作です~ 一般教養科 野口裕子

12月6日 脳死について考えよう

~脳死は人の死だろうか~ 一般教養科 谷本修治

[2] 教育フォーラム2003「英語の使える日本人をどう育てるか」

・平成15年12月26日(金)13時~17時

・基調講演 「教育現場で英語が使える日本人(学生)を育てる方法」

愛媛大学大学教育総合センター 助教授 折本 素

・事例発表 ・「コミュニケーション能力を伸ばす小学校英語活動のあり方」

新居浜市立神郷小学校 戸井和彦

・「中学英語、最前線から」

新居浜市立北中学校 高橋良光

・「技能としての高校英語再考」

愛媛県立新居浜西高等学校 管 開

・「語彙の定着を目指して-アクション・リサーチによる授業改善」

新居浜工業高等専門学校 一般教養科 野村真理子

・パネル討論

・一般市民80名、本校教職員50名が参加 計130名

[3] サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)

平成15年12月6日(土)及び12月7日(日)

小学生を対象に、テーマ「電気で遊んでみよう」と題して、小学校や家ではできない科学の実験を体験してもらった。

新居浜市内14校の小学5、6年生40名が参加

業務責任者は材料工学科 松英達也、業務担当は生物応用化学科 西井靖博、

電気情報工学科 横山隆志である。

[4] 教育支援プロジェクト

平成15年7月から4回開催し、約300名が受講した。

理科離れ対策や教育支援を目的として、小学校の子ども会、小・中学校の文化祭にお

いて、「モータ作り」、「純銀キーホルダー作り」、「コンピュータで表示機ボードに絵や文字を描く」、「コンピュータで2輪自動車を走らせる」、「モータが回る原理」、「ローソクでモータボートを走らせる」、「水飲み鳥」などの支援を行った。

その結果、受講生からは、今後も参加したいとの高い評価を得た。体験学習の指導に参加した学生からは、自分で、電子回路を組んだり、コンピュータでプログラムを作ったりするものが出てきて、高い教育効果が得られた。

本校の「教育支援プロジェクト」チームは以下の3名である。

電気情報工学科 稲見和生、材料工学科 谷 耕治、電気情報工学科 横山隆志。

3.6.2 公開講座、社会への生涯学習事業の実施状況

平成15年度の公開講座及び生涯学習事業の実施状況を次表に示す。

表3.6.1 公開講座の実施状況

講座名	対象者	期間	時間帯	参加者
ガラス工芸技術の世界	市民一般	6/21	13:00～17:00	11
最新の計測機器の活用法とその紹介 機器名：電子線マイクロアナライザ	工業技術者	7/28	13:00～17:00	2
機器名：超伝導型核磁気共鳴装置	工業技術者	7/29	10:00～12:00 13:00～16:00	3
ホームページの作成	市民一般	8/2	13:00～17:00	9

表3.6.2 生涯学習事業の実施状況（新居浜高専市民講座）

場所 新居浜工業高等専門学校 視聴覚教室

時間 10:00～12:00

月日(曜)	内容(テーマ)	講師名(所属)
5月31日(土)	介護はどんどん楽になる！？ ～介護支援の機器のお話～	機械工学科 助教授 吉川貴士
6月28日(土)	これからの運転・交通はどうなる！ ～IT社会の自動車・交通システム～	電気工学科 教授 佐藤真一
7月26日(土)	バクテリアは働いている！ ～微生物の環境・生活での利用～	生物応用化学科 助教授 早瀬伸樹
8月30日(土)	あなたの知らないガラスの魅力！ ～窓ガラスから電子部品まで～	材料工学科 助教授 新田敦己
9月27日(土)	円地文子の世界「女坂」を読む ～源氏物語の訳者でもある作家の代表作です～	一般教養科 教授 野口裕子
10月25日(土)	自動車の心臓は「エンジン」です！ ～生活を支える熱機関のお話～	数理科 教授 平木弘一
12月6日(土)	脳死について考えよう！ ～脳死は人の死だろうか～	一般教養科 助教授 谷本修治

3.6.3 教員の学外活動状況

平成15年度の教員の学外における活動の状況を次表に示す。

表3.6.3 非常勤講師

所属	氏名	機関	担当科目	週当たり時間数	担当期間
一般科目	谷本修治	十全看護専門学校	倫理学	100分 (計30時間)	15.4.23 ~15.9.17
一般科目	岩倉秀樹	瀬戸内短期大学	日本国憲法	90分 (計30時間)	15.4.1 ~15.9.30
一般科目	野口裕子	四国学院大学	日本文学史	90分 (計30時間)	15.4.1 ~16.3.31
電子制御 工学科	白井みゆき	愛媛県立伊予三島 看護専門学校	情報科学	180分 (計60時間)	15.4.10 ~15.6.5
一般科目	安藤進一	愛媛大学	スポーツ 実習1	180分 (計60時間)	15.10.1 ~16.3.31

表3.6.4 各種審議会等委員

所属・氏名	兼業先機関等	期間	開催回数	
〔機械工学科〕 吉川貴士	新居浜市廃棄物減量等推進審議会委員	14.12.2 ~16.11.30	月1回	
	新居浜市福祉協議会福祉用具改善相談員	15.4.17 ~16.3.18	年3回	
	新居浜市情報化推進会議eまちづくり推進専門部会員	15.5.12 ~16.3.31	年3回	
	NPO法人「新居浜いきいき工房」理事	15.4.1 ~17.5.31	年3回	
	新居浜市情報化推進会議eまちづくり推進専門部会員	15.5.12 ~16.3.31	年3回	
	新居浜市中小企業新製品研究開発認定及び評価委員会委員	15.7.1 ~17.6.30	年2回	
	(財)えひめ産業振興財団えひめ福祉関連用具開発普及協議会運営委員	15.6.5 ~17.3.31	年3回	
	新居浜市ボランティア市民活動センター運営委員会委員	15.11.11 ~17.3.31	年3回	
	〔電気情報 工学科〕 伊月宣之	愛媛県経済労働部企業振興課えひめITフェア運営委員会委員	15.4.1 ~16.3.31	年3回
		檀上光昭	(財)えひめ産業振興財団エネルギー使用合理化相談員	15.5.28 ~16.3.5

〔電子制御 工学科〕			
田中 大二郎	新居浜市情報化推進会議委員	14.10.3 ~ 16.3.31	年 8 回
深 山 幸 穂	新居浜市中小企業新製品研究開発認定 及び評価委員会委員	15.7.1 ~ 17.6.30	年 2 回
〔生物応用 化学科〕			
中 山 享	新居浜市中小企業新製品研究開発認定 及び評価委員会委員	15.7.1 ~ 17.6.30	年 2 回
真 鍋 昌 裕	新居浜市環境審議会委員	12.8.1 ~ 15.7.31	年 3 回
真 鍋 昌 裕	新居浜市環境審議会委員	15.8.1 ~ 18.7.31	年 3 回
桑 田 茂 樹	(財)東予産業創造センター技術審査専 門委員会委員長	15.8.7 ~ 16.3.31	年 1 回
〔材料工学科〕			
曾我部 卓三	新居浜市中小企業振興審査委員会委員	13.7.1 ~ 15.6.30	年 3 回
谷 耕 治	新居浜市情報化推進会議 e まちづくり 推進専門部会員	15.5.12 ~ 16.3.31	年 3 回
日 野 孝 紀	大阪大学大学院生産科学専攻 L P M 国 際会議事務局 L P M 2 0 0 4 組織員	15.8.5 ~ 16.8.31	期間中 5 回
〔数理科〕			
川 崎 宏 一	放射光利用研究促進機構(財)高輝度光 化学研究センタートライアルユース課 題選定委員会委員	15.4.28 ~ 17.3.31	年 2 回
川 崎 宏 一	放射光利用研究促進機構(財)高輝度光 化学研究センター利用研究課題選定委 員会分科会委員	15.4.28 ~ 17.3.31	年 2 回
川 崎 宏 一	新居浜市中小企業振興審査委員会委員	15.7.1 ~ 17.6.30	年 2 回
川 崎 宏 一	愛媛県科学技術振興会議委員	15.8.25 ~ 17.8.7	年 2 回
平 木 弘 一	新居浜市放置自動車廃物判定委員会委 員	14.4.30 ~ 16.4.29	年 5 回
平 木 弘 一	(財)えひめ産業振興財団エネルギー使 用合理化相談員	15.5.28 ~ 16.3.5	年 2 回

表3.6.5 スポーツ・文化活動等

所属学科名・氏名	所属学会等名	期間	備考
(機械工学科)			
宮田 剛	新居浜市ソフトテニス連盟理事	6.4.1～	
〃	日本体育協会公認C級スポーツ指導員	7.4.1～	
〃	日本体育協会公認C級コーチ	12.4.1～	
〃	日本ソフトテニス連盟公認1級審判員	13.4.1～	
(一般教養科)			
安藤 進一	ワールドカップサッカーキャンプ地誘致 実行委員会委員	12.6.1 ～15.5.31	
〃	新居浜市スポーツ振興審議会委員	14.8.6 ～16.8.5	
〃	愛媛県サッカー協会常務理事	14.8.30 ～16.3.31	
〃	新居浜市サッカー協会理事長	14.8.30 ～16.3.31	

3.6.4 広報活動

平成15年度の広報活動の状況を次表に示す。

表 3.6.6 広報活動の状況

:回

15年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
報道機関等	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
愛媛新聞	2	2	1			1	1	1	3	1	1	1	14
朝日新聞	1			1					1		1		4
毎日新聞	1	1	1	2			2	2	3				12
読売新聞		2	1										3
日刊工業新聞	1												1
日本経済新聞									1				1
海南eタイムズ							3	1				1	5
市政だより			1	1					1				3
ハートネットワーク	1		2	2	1	1			2		1	1	11
NHK									1	2			3
南海放送							1		1				2
愛媛朝日放送			1										1
計	6	5	7	6	1	2	3	7	13	4	3	3	60

3.7 国際交流

3.7.1 留学生の受入状況と指導体制

宗教的事情で食材に制限がある男子留学生の人数が少なくなって来たのと時を同じくして、平成14年度からは留学生が日本人との交流を以前より促進させるために、日本人寮生と同じ寮生活をしている。日本語の勉強、日本の学校と学校暦が違うために、留学生と同じ学年の日本人学生より留学生は二歳年上であるが、本校来校の初年度（本科3年生）は二人の日本人本科3年の学生と3人部屋に、次年度（本科4年）からは個室に入室している。平成16年1月に女子寮が開寮し、11名が入寮した。

表 3.7.1 留学生の受入状況

年度	機械工学科	電気工学科 (電気情報工学科)	電子制御工学科	生物応用 化学科	材料工学科
12年度		ケニア 1名	マレーシア 1名		
13年度			スリランカ 1名		
14年度		コロンビア 1名	モンゴル 1名		
15年度		イラン 1名	モンゴル 1名 マレーシア 1名		タイ 1名
16年度	マレーシア 1名	ベトナム 1名	マレーシア 1名 ベトナム 1名	中国 1名	

3.7.2 在学生の海外留学と研修状況

表 3.7.2 在学生の海外留学

年度	学科・学年	氏名	留学先	期間
10	機械工学科5年	小林 充宏	オーストラリア	1997.10 ~ 1998.10
11	生物応用化学科3年	一色 涼子	オーストラリア	2000.1 ~ 2000.12
12	実績なし			
13	機械工学科5年	木村 宏樹	オーストラリア	2001.4 ~ 2002.3
	電子工学専攻2年	金丸 俊之	ニュージーランド	2001.9 ~ 2002.1
	電子制御工学科3年	永井 とも	ニュージーランド	2002.1 ~ 2002.12
14	生物応用化学科3年	坂田 直美	アメリカ	2002.7 ~ 2003.6
15	生物応用化学科3年	金丸 真希	イギリス	2003.4 ~ 2004.3
	生物応用化学科3年	白石 悠	イギリス	2003.7 ~ 2004.6

表 3.7.3 在学生の研修

年度	学科・学年	氏名	研修先	期間
10	機械工学科5年	長井 啓司		1998.10.5 - 9
11	電子制御工学科4年	石川 雄司	カナダ	夏休み
12	なし			
13	生産工学専攻1年	坪内 栄志	アメリカ	1週間
14	なし			
15	なし			

3.7.3 教員の国際会議への参加状況

平成15年度の教員の国際会議への参加状況を次表に示す。

表 3.7.4 教員の国際会議への参加状況

	平成15年度
カナダ	1件
メキシコ	1
オランダ	1
アメリカ	1
ベトナム	1
台湾	1
日本	7

(内訳)

所属学科・氏名	国際会議等名	会場(開催地)	期間
電子制御工学科 深山 幸穂	13th IEEE-NPSS Real Time Conference 2003	Hotel Omni Mont Royal (カナダ)	H15.5.22 ~ H15.5.27
数理学科 柳井 忠	XV Coloquio Latinoamericanode Algebra	Hacienda Cocoyoc Hotel (メキシコ)	H15.7.20 ~ H15.7.25
機械工学科 豊田 幸裕	13th IFAC Symposium on System Identification	ロッテルダム (オランダ)	H15.8.24 ~ H15.8.30
電子制御工学科 出口 幹雄	56th Gaseous Electronics Conference	CATHEDRAL HILL HOTEL (アメリカ)	H15.10.18 ~ H15.10.25
生物応用化学科 真鍋 昌裕	第8回ユーラシア化学会議	Daeoo Hotel (ベトナム)	H15.10.19 ~ H15.10.26
機械工学科 宮田 剛	The 5th Pacific Rim Conference on Lasers and ElectroOptics	The Grand Hotel (台湾)	H15.12.15 ~ H15.12.20
材料工学科 松英 達也	ISSP2003	金沢国際ホテル (日本)	H15.6.11 ~ H15.6.13
材料工学科 松英 達也	ATEM03	名古屋国際会議場 (日本)	H15.9.10 ~ H15.9.12
材料工学科 朝日 太郎	Goldschmidt2003	くらしき作陽大学 (日本)	H15.9.10 ~ H15.9.12
材料工学科 朝日 太郎	第5回環太平洋セラミック 国際会議	名古屋国際会議場 (日本)	H15.9.30 ~ H15.10.2
電子制御工学科 深山 幸穂	Stchastic System Symposium	宇部国際ホテル (日本)	H15.10.29 ~ H15.10.31
生物応用化学科 真鍋 昌裕	九州コロイドコロキウム 国際会議	福岡大学 (日本)	H16.3.7 ~ H16.3.9
生物応用化学科 河村 秀男	九州コロイドコロキウム 国際会議	福岡大学 (日本)	H16.3.7 ~ H16.3.9

3.8 教育および学校運営の改善活動

平成15年度は、学校運営目標とともに教育改善推進計画（冊子）を作成し、改善活動を行った。以下にその実施状況を示す。

1. 校長によるFD活動

昨年度に引き続き、平成15年度も

1) 学科・科との懇談、2) オフィスアワーの開設、3) 担任との懇談、4) 各教員との個別懇談、5) 学生との懇談等を実施し、広く学内からの意見や要望を聞き、学校運営・改善を推進した。

2. 初任者研修、非常勤講師研修

平成15年4月に新任教職員のための研修を実施した。また、平成15年度の非常勤講師全員を対象とした研修も実施した（各科・学科主任も出席）。

3. FD研修会の開催

新居浜高専教育力向上講座としてFD研修会を開催した。

日時：平成16年3月3日（水）16時～

講演：16時～17時30分

質疑応答：17時30分～

場所：第1会議室

講師：高知高専 物質工学科 島内功光 教授

演題：「高専教育の発展を目指して」

この研修会では、参加教員数が少なかったという大きな問題点を残す結果となった（高知高専ではほとんど全員が出席するとのことであった）。

4. 教育改善の事例発表（教員会）

平成15年度7月からの教員会で、各科・各学科からの教育改善の事例発表を行った。今後、これらの情報を各科、各学科で有効に活用することが大切である。

平成15年度教官会での教育改善に関する事例発表一覧

1 第4回教員会（7月）

発表者：深山幸穂

講演タイトル：「教育改善への取組み」

2 第5回教員会（9月）

発表者：河村秀男

講演タイトル：「学科としての教育改善への取組み」

3 第6回教員会（10月）

発表者：大村 泰

講演タイトル：「8：10登校指導の試み」

4 第7回教員会（11月）

発表者：松英達也

講演タイトル：「レゴ・マインドストームスを用いたトレースロボットの作製」

5 第9回教員会（1月）

発表者：刑部富夫、谷脇充浩

講演タイトル：「実験・実習科目の変遷と教育方法の検討」

6 第9回教員会（1月）

発表者：野口裕子

講演タイトル：「電子辞書の使用について」

7 第10回教員会（2月）

発表者：川崎宏一

講演タイトル：「数学授業改善」

5. 学外のFD研修会への参加

平成15年度は、国専協の主催、共催の研修会には1名以上は必ず参加し、また、それ以外の研修会には、内容に応じて参加することを目標とした。表3.8.1に平成15年度に参加した研修会等の一覧を示した。この内、国専協の主催平成15年度四国地区高等専門学校教官研究集会では、本校から2件の発表も行った。また、これらの研修会に参加した場合、教員会でその内容を報告した。

表3.8.1 平成15年度FD研修会等参加者一覧

1	第7回四国地域インターンシップ推進協議会 6月9日 四国経済産業局（高松市）	新田敦己
2	（社）日本工学教育協会主催 平成15年度工学教育連合講演会 6月13日～6月15日 早稲田大学大隈講堂	今井伸明
3	平成15年度高等専門学校情報処理教育担当者上級講習会 7月14日～7月25日 豊橋技術科学大学	勝浦 創
4	第20回全国禁煙教育研修会 7月26日～7月27日 丸亀オークホテル	檀上光昭
5	第5回高等専門学校及び技術科学大学図書館情報シンポジウム 7月30日～8月2日 長岡技術科学大学マルチメディアセンター	小山一夫
6	国専協主催 平成15年度四国地区高等専門学校教官研究集会 7月31日～8月1日 阿南工業高等専門学校	桑田茂樹 出口幹雄 吉川貴士
7	平成15年度高等専門学校・長岡技術科学大学教官交流研究集会 8月17日～8月20日 長岡技術科学大学	伊月宣之
8	文部科学省主催 平成15年度高等専門学校教員研究集会（第二班） 8月18日～8月19日 オークラホテル高松（高松市）	桑田茂樹 平木弘一 千葉克夫 尾崎司郎 鴻上政明 森長 新
9	平成15年度高等専門学校・長岡技術科学大学教官交流研究集会 8月20日～8月22日 長岡技術科学大学	深山幸穂 新田敦己
10	文部科学省主催 平成15年度国立高等専門学校教官研究協議会 （新任教官研修） 8月20日～8月22日 国立オリンピック記念青少年総合センター	今井伸明 横山隆志 野村真理子
11	第1回全国高専テクノフォーラム 8月25日～8月28日 釧路市国際観光センター	川崎宏一

12	国専協主催 平成15年度高等専門学校教育研究集会 8月28日～8月29日 ホテルグリーンパーク鈴鹿(鈴鹿市)	河村秀男
13	情報セキュリティセミナー 8月29日～8月30日 文部科学省分館虎ノ門ホール	栗原義武
14	平成15年度専攻科実務者会議 9月17日～9月19日 小山グランドホテル(小山市)	中川克彦
15	第1回四国地区セクシャル・ハラスメント防止研修リーダー養成コース 9月25日～9月26日 高松第2地方合同庁舎	志賀信哉
16	平成15年度中国・四国地区メンタルヘルス研究協議会 10月23日～10月24日 セントユア山口(山口市)	野口裕子
17	第41回全国学生相談研修会 12月7日～12月10日 東京国際フォーラム	皆本佳計
18	法人化に向けた特別講演会 12月24日 阿南工業高等専門学校	桑田茂樹 森長 新 伊月宣之 檀上光昭
19	文部科学省主催「一日知的財産本部」の聴講 1月16日 東京国際フォーラム	深山幸穂
20	高等教育IT支援事業 高等専門学校における教材・素材の蓄積、流通等について 2月26日～2月27日 メディア教育開発センター	勝浦 創
21	第4回ワークショップ「技術者倫理」 2月26日～2月28日 新日本製鐵(株)代々木研修セミナー	高橋知司 吉川貴士
22	電子情報通信学会 平成15年度第2回JABEE自主研修会 3月6日～3月7日 大阪大学工学部	榊原久司
23	第4回ワークショップ「コミュニケーションスキルの指導法」 3月12日～3月14日 新日鐵幕張研修センター(千葉市)	森長 新

6. 各科・教科ごとの教育改善グループの組織化

組織化は実現できたが、まだ有効に機能しているとはいえない。カリキュラムやシラバスの内容の検討について、教務委員会、専攻科教育委員会、JABEE推進室などとの連携が不十分であった。活動内容、実施時期、方法についての具体性に欠けていたためと思われる。また、組織の位置付け等を明確にするなどの改善も必要である。

7. 公開授業

本年度22回の学内公開授業を実施した(表3.8.2)。昨年の6件と比較すると回数は増加している。また、実施方法(申込、学内への周知方法など)は確立したが、参加(聴講)者が非常に少ないという大きな問題を残している(公開授業に最低1名以上必ず参加することを決めている学科もある)。さらに、実施後のコメント等の意見交換方法も不十分であり、改善が必要と思われる。

また、平成15年度初めて、保護者向けの公開授業も実施した。これは、広く保護者に高専の授業(講義)や実験などを参観してもらい、高専の教育に対する理解を深めてもらうことを目的としたものである。実施方法は以下の通りである。

日時：平成15年10月29日(水)1～8限

方法：当日の本科全学年・全学科の授業・実験等を全て公開する。(オープンスクール)管理棟玄関に案内窓口を設け、教務係事務官および教務委員が対応する。各学科主任および担任は、個別窓口を設け、保護者の質問等に随時応じる。

当日、受付をされた保護者は77名で、アンケートを実施した結果、厳しい指摘も何件か頂いた。これらを踏まえ、今後の実施を継続するとともに、実施形態等の改善も必要と思われる。

表3.8.2 平成15年度公開授業実施結果

	日時	時限	科目名	学科・学年	科目担当者	場所
1	平成15年 5月29日(木)	1,2時限	材料工学 入門	材料工学科 1年	材料工学科 全教官	材料工学科棟 4カ所
2	平成15年 7月2日(水)	5時限	英語1	1年3組	尾崎司郎	1年3組教室
3	平成15年 7月8日(火)	1,2時限	電子回路 1	電気工学科 3年	佐藤眞一	電気工学科 3年教室
4	平成15年 7月9日(水)	1,2時限	電力工学 2	電気工学科 5年	檀上光昭	電気工学科 5年教室
5	平成15年 7月9日(水)	3,4時限	電気電子 計測2	電気工学科 3年	尾西康次	電気工学科 3年教室
6	平成15年 7月10日(木)	1,2時限	情報リテ ラシ	電気工学科 1年	伊月宣之	情報処理室
7	平成15年 7月16日(水)	5,6時限	電気回路 2	電気工学科 3年	大村 泰	電気工学科 3年教室
8	平成15年 7月17日(木)	1,2時限	電気磁気 学2	電気工学科 4年	井門英司	電気工学科 4年教室
9	平成15年 9月4日(木)	1,2時限	電気機器 1	電気工学科 3年	稲見和生	電気工学科 3年教室
10	平成15年 9月5日(金)	1,2時限	電気機器 2	電気工学科 4年	皆本佳計	電気工学科 4年教室
11	平成15年 9月10日(水)	1,2時限	材料力学	材料工学科 3年	志賀信哉	材料工学科 3年教室
12	平成15年 9月11日(木)	1,2時限	基礎情報 数学	電子制御工 学科3年	馬淵眞人	電子制御工学 科3年教室
13	平成15年 9月17日(水)	5,6時限	材料加工 学	材料工学科 4年	谷 耕治	材料工学科4 年教室
14	平成15年 11月21日(金)	3時限	英語2B	2年4組	野村真理子	2年4組教室
15	平成15年 12月8日(月)	6,7時限	情報基礎 実習1	電子制御工 学科1年	榊原久司, 占部弘治	CAD実習室 (D科)
16	平成15年 12月8日(月)	6,7時限	電子基礎 実習	電子制御工 学科1年	榊原久司	基礎工学実験 室
17	平成16年 2月12日(木)	3時限	技術英語 1	生物応用化 学科3年	鴻上政明	生物応用化学 科3年教室

18	平成16年 2月19日(木)	1時限	時事英語	電気工学科 5年	Ray Tabesh	L L 教室
19	平成16年 2月17日(火)	5,6時限	電気工学 実験3	電気工学科 5年	皆本佳計	電力工学実験 室
20	平成16年 2月20日(金)	5,6時限	電気工学 実験1	電気工学科 3年	稲見和生	電気磁気学実 験室
21	平成16年 2月18日(水)	7,8時限	工学基礎 実験	機械工学科 2年	刑部,北住,豊 田,谷口,宮田	機械工学科製 図室
22	平成16年 2月25日(水)	3~8 時限	電子創作 実習	電子制御工 学科4年	出口幹雄, 白井みゆき	基礎工学実験 室

8. 新居浜高専教育フォーラム2003の開催

地域の教育機関との協力、連携を深める目的で、平成15年度に初めて教育フォーラムを開催した。その内容を以下に示す。なお、このフォーラムは、毎年継続して実施する予定である。

<新居浜高専教育フォーラム2003の実施内容>

テーマ：「英語の使える日本人をどう育てるか」

日時：平成15年12月26日(金)13時~17時

基調講演：「教育現場で英語が使える日本人(学生)を育てる方法」

愛媛大学大学教育総合センター 助教授 折本 素

事例発表：

1)「コミュニケーション能力を伸ばす小学校英語活動のあり方」

新居浜市立神郷小学校 戸井和彦

2)「中学英語、最前線から」

新居浜市立北中学校 高橋良光

3)「技能としての高校英語再考」

愛媛県立新居浜西高等学校 管 開

4)「語彙の定着を目指して - アクション・リサーチによる授業改善」

新居浜工業高等専門学校 野村真理子

パネル討論：

パネリスト：当日の講演者、事例発表者

一般市民80名、本校教職員50名が参加した。近郊の小、中学校、高等学校を中心に案内したが、塾の講師の先生方など予想以上に多くの参加者があった。

9. J A B E E 受審

平成15年度、「生物応用化学プログラム」が日本技術者教育認定機構(J A B E E)の審査を受け、認定された。

J A B E E 認定証

認定月日：2004年5月10日

教育機関名：新居浜工業高等専門学校 生産工学専攻

認定プログラム名：生物応用化学

認定分野：化学および化学関連分野(応用化学コース)

また、デザイン工学プログラム(生産工学専攻(機械工学コース・材料工学コース))、

電子工学専攻)も平成17年度に受審する予定である。

10. 外部点検評価の実施

平成15年度JABEE審査を受けた生物応用化学科を除いた、他の学科は、外部点検評価を実施した。今回の点検評価項目は次の3点とした。

- (1) 創造性涵養の観点から見た実験実習・卒業研究
- (2) JABEE対応のための今後のカリキュラムのあり方
- (3) 研究活動の活性化と教育へのフィードバック

その実施日を以下に示す。

- 1) 機械工学科 外部点検評価実施日：平成16年2月12日(木)～13日(金)
- 2) 電気情報工学科・電子制御工学科 外部点検評価実施日：平成16年2月17日(火)～18日(水)
- 3) 材料子学科 外部点検評価実施日：平成16年2月16日(月)～17日(火)

以上のように、平成15年度のFD活動については、取り組み始めたものが多く、まだ定着までには至っていないものが多い。内容や実施形態・実施方法などを再検討し、定着に向けて改善していく必要がある。FD講演会、研修会については、参加者が少ないことが最大欠点である(教員の意識改革が最優先課題である)。また、学内でのFD事例発表(教員会)を学外での発表、高専教育への投稿などへ発展させていくことも大切である。各科・教科ごとの教育改善グループについては、組織的な位置付けや連携体制を確立し、有効に機能させることが必要と思われる。

11. その他の講演会

平成15年度本校で開いた講演会を以下に示す。

1) 学位(博士)授与講演会の開催

平成15年度に3名の教員が学位(博士)を取得された。これに伴い、今後の本校の教育研究活動の活性化を推進するために学位(博士)授与講演会を平成16年3月に開催した。

日 時 平成16年3月17日(水) 13時30分～15時40分

場 所 視聴覚教室

講演者等 1) 電気情報工学科助手 香川福有

講演題目 「能動アンテナのフェーズドアレー動作の研究」

2) 生物応用化学科助手 西井靖博

講演題目 「逆ミセル系におけるタンパク質の抽出および抽出装置に関する研究」

3) 電子制御工学科講師 山田正史

講演題目 「音場を制御する」

2) 公開講演会

題 目 「日本の近代化と別子銅山」

日 時 平成15年10月3日(金) 15時30分～17時

場 所 新居浜高専 視聴覚教室

講 師 新居浜市広瀬歴史記念館名誉館長 末岡照啓氏

対 象 本校教職員及び一般の聴講希望者(学外参加者約30名)